

音楽科学習指導案

1 日 時 平成 年 月 日 () ~ 月 日 () 全4時間

2 学年・組 第 学年 組 (名)

3 場 所 年 組教室

4 題 材 我が国や郷土の伝統音楽の魅力を味わおう～京都のわらべうたで遊ぼう～

5 題材の目標

わらべうたの曲の特徴に親しみ、それらを生かして音楽をつくる活動を通して、京都のわらべうたのよさや面白さを味わう。

6 本題材と学習指導要領の関わり

・指導事項 A表現(3)音楽づくり イ, B鑑賞(1)イ
〔共通事項〕 ア(ア)リズム・旋律 (イ)問いと答え・反復

7 題材設定の意図

(1) 題材について

本題材は、わらべうたの曲の特徴に親しみ、それらを生かして音楽をつくる活動を通して、京都のわらべうたのよさや面白さを味わうことをねらいとした題材である。

学習指導要領の鑑賞の指導事項では、主に「楽曲を全体にわたり感じ取ること」「楽曲の構造を理解して聴くこと」「楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること」の三つが挙げられている。そこで、第1時の新しい楽曲との出会いの場面では、曲全体を聴いてどんな感じがするかを話し合い、音楽のどこからそう感じたのかをもう一度聴き返すことで、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴くことができるようにしたい。

第2時では、鑑賞の活動で学んだ、わらべうたの曲の特徴である「問いと答え」を生かし、自分たちで音楽づくりをする。わらべうたは、生活場面と密接に結びついており、日常の話し言葉がそのまま歌に結びついている。そこで、二人組になって、ふだんの生活場面を想起し言葉を考え、その言葉の抑揚に合うような旋律をつける活動を行う。第3時では、つくった音楽を発表し、聴き合うことで、それぞれがつくった音楽のよさを交流し認め合う場としたい。

第4時では、音楽づくりで培った力を生かして再び鑑賞し、ほかの京都のわらべうたにも同じ音楽の仕組みがあることに気付くことができるようにしたい。また、紹介文を書くことで、京都のわらべうたのよさや面白さを味わうことができるようにしたい。

このように、鑑賞と表現(音楽づくり)の活動を関連付けて学習を進めることで、主体的・創造的に取り組む力の育成を目指したい。また、このような学習の積み重ねが、音楽と生活との関わりに関心をもち、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むことにつながると考える。

(2) 題材の構造図

京都のわらべうたで遊ぼう

題材の目標：わらべうたの曲の特徴に親しみ、それらを生かして音楽をつくる活動を通して、京都のわらべうたのよさや面白さを味わう。(全4時間)

□…題材を通して指導する、〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素

(①時間目)

京都のわらべうた「たんす長持」を聴いて、わらべうたのひみつを見つけよう。

<感じたこと>

- ・お話しているみたい。
- ・楽しい感じ。
- ・面白い感じ。
- ・にぎやかな感じ。
- ・遊んでいる感じ。

<気付いたこと>

- ・「どうしていくの」と聞いて「およめさんになっておいで」と答えているよ。(問いと答え)
- ・リズムにくり返しがあるよ。(反復)
- ・歌詞に合わせて音が上がったり下がったりするね。(旋律)
- ・歌詞にある、だれがなにになってくるかを変えるんだね。

わらべうたの曲のひみつを見つけたよ。

～鑑賞の活動で学んだことを生かして、
音楽づくりの活動へ～

◇鑑賞1H

二人組で
(②時間目)

わらべうたの曲の感じを生かして、
問いと答えの音楽をつくろう。

問いと答え

反復

旋律

リズム

☆遊びのはじめ ☆帰るとき ☆家での会話 ☆あいさつ

- ・問いと答えを使って歌詞をつくろう。
- ・反復を入れてみよう。
- ・歌詞に合う旋律をつけよう。
- ・楽しい感じのリズムにしよう。
- ・最後は「おしまい」で終わろう。

クラスで
(③時間目)

発表して
聴き合う

わらべうたの曲の感じを生かした音楽をつくることができたね。

～音楽づくりで培った力を生かして、
再び鑑賞の活動へ～

○音楽づくり2H

(④時間目)

もう一度京都のわらべうたを聴いて、一番好きな曲を紹介しよう。

「たんす長持」

「コンコンさん」

「deenkodeenko」

「京の大仏つあん」

- ・ほかの京都のわらべうたにも、問いと答えがあるよ。
- ・くり返しのリズムだから遊びたくなるね。
- ・歌詞や旋律が面白いね。
- ・どのわらべうたが一番好きかな。
- ・ほかにどんな京都のわらべうたがあるのか知りたいな。

わたしたちが感じた京都のわらべうたのよさを、もっとみんなに伝えたいな。

◆鑑賞1H

8 教材について

「たんす長持」 採譜：高橋 美智子

旧京都市域（上京区，下京区からなる明治初年当時までの市域。北は京都御所から南は七条通り，東西は祇園から西陣あたりまで）のわらべうた。長持は，たんすと同様，むかしの嫁入り道具には必ずあった大切なもので，歌詞の「〇〇さんがほしい」「お嫁さんになっておいで」と，嫁入りの様子とが似ていて，遊びになったものと思われる。二組に分かれて，「花いちもんめ」のようにして遊ぶ。「お嫁さん」の歌詞を変えて，ジェスチャーを楽しむ「子もらい遊び」である。二組が交互に歌うあたりが，反復，問いと答えになっていて，音楽の仕組みがわかりやすい教材である。

「コンコンさん」 採譜：高橋 美智子

旧京都市域のわらべうた。つかまえ鬼の始めに歌う歌である。「コンコンさん 遊びましょ」と聞いたら，鬼は「いま〇〇してます」と答える。これを反復し，最後は鬼が「蛇の生きたん」と答えたあとにみんなが一斉に逃げる。音楽の仕組みがわかりやすい教材である。

「デーンコデンコ」 採譜：高橋 美智子

旧京都市域のわらべうた。べんがら格子にもたれて目をつむっている鬼の後ろにみんなが一行に並ぶ。「デーンコデンコ」と歌いながら，その都度並ぶ順を変え，だれのとなりにだれがいるかを当てる，人当て鬼の歌である。夏の夕涼み，浴衣の子どもたちが集まって来て遊びが始まる。違ったときと当たったときに答える歌詞が京都らしい。反復，問いと答えがわかりやすい教材である。

「京の大仏つあん」 採譜：高橋 美智子

旧京都市域のわらべうたで，京のわらべうたを代表する歌である。美しい陰音階の曲は，京の子どもたちに愛唱され，京の人たちには大変なつかしい歌である。「うしろの正面どなた」の歌詞も京都らしい。かつて東山阿弥陀ヶ峯のふもとに威容を誇った，方広寺の大仏つあんが，寛政10年（1798）に雷火で焼失したときのことをうたったものである。目を閉じてしゃがんでいる鬼のまわりを，数人の子も達が手をつないで輪になり，歌いながら回る。「うしろの正面どなた」で立ち止まり，「お猿キヤッキヤッキヤ」で一斉にしゃがむ。鬼は真後ろの子の名前を当てる人当て鬼の歌である。反復，問いと答えがあり，音楽の仕組みがわかりやすい教材である。

9 題材の評価規準及び評価の視点

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
音楽づくり	○	○	○	
鑑賞	○			○
題材の評価規準	<p>楽曲の気分、音楽を形づくっている要素の関わり合い、声や音の様々な特徴や面白さに興味・関心をもち、曲を聴いたり、簡単な音楽をつくったりする学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら表現を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いをもっている。</p>	<p>声や音の様々な特徴に気付いたり、音楽の仕組みを生かしたりするなどの基礎的な技能を身に付けて、音を音楽にしている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、楽曲の気分、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取ったり、楽曲や演奏の楽しさに気付いたりして、味わって聴いている。</p>
評価の視点	<p>①楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②鑑賞の活動で学んだ、音楽の仕組みや、音を音楽にしていくことに興味・関心をもち、思いをもって問いと答えの音楽をつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていくことをいろいろと試して、思いをもって問いと答えの音楽をつくる工夫をしている。</p>	<p>①鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・反復などの音楽の仕組みを生かし、問いと答えの音楽をつくっている。</p>	<p>①問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴いている。</p> <p>②音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の気分や問いと答え・リズム・旋律・反復などの関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲のよさや面白さに気付いて聴いている。</p>

10 指導と評価の計画（全4時間）

	○研究テーマにせまるための 主な学習活動	■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
第1次 1	<p><ねらい> 京都のわらべうた「たんす長持」の曲の特徴に親しみ、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴く。</p> <p><教材> (京都のわらべうたより)「たんす長持」</p> <p>[共通事項] ア (ア) リズム・旋律 (イ) 問いと答え・反復</p>		
1	<p>○京都のわらべうたである「たんす長持」を聴き、曲のおもしろさを見つける。</p>	<p>*聴くポイントを変えて何回も曲を聴くことにより、音楽を形づくっている要素である問いと答え・リズム・旋律・反復などに気付くことができるようにする。</p>	<p>【ア-①】 楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 (聴いている様子の観察・発言・表現の観察)</p> <p>【エ-①】 問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・学習カード)</p>
第2次 2	<p><ねらい> 鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かし、問いと答えの音楽をつくる。</p> <p><教材> (参考教材)「たんす長持」</p> <p>[共通事項] ア (ア) リズム・旋律 (イ) 問いと答え・反復</p>		
2	<p>○わらべうたの曲の感じを生かして、簡単な問いと答えの音楽をつくる。</p> <p>(遊びのはじめのときの例) ○○さん→なあに 遊びましょ→いいよ なにして遊ぶ→なにして遊ぶ おにごっこしよか→いーいよ ♪おーしまい</p>	<p>*鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・リズム・旋律・反復などの音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かすことにより、問いと答えの音楽をつくることができるようにする。</p>	<p>【ア-②】 鑑賞の活動で学んだ、音楽の仕組みや、音を音楽にしていくことに興味・関心をもち、思いをもって問いと答えの音楽をつくる学習に進んで取り組もうとしている。 (つくっている様子の観察・発言)</p> <p>【イ-①】 鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていくことをいろいろと試して、思いをもって問いと答</p>

	<p>3 ○簡単な問いと答えの音楽を発表し、それぞれの音楽のよさを聴き合う。</p>	<p>*問いと答えになる言葉になっているか、言葉の抑揚に合った旋律やリズムになっているかなど、聴くポイントを与えることにより、よかったところ、直した方がいいところを伝えるようにする。</p>	<p>えの音楽をつくる工夫をしている。 (つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カード)</p> <p>【ウー①】 鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・反復などの音楽の仕組みを生かし、問いと答えの音楽をつくっている。 (演奏の聴取・発言・学習カード)</p>
<p>第3次 1</p>	<p><ねらい> 音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲のよさや面白さに気付いて聴く。</p> <p><教材> 「たんす長持」「コンコンさん」「デーンコデンコ」「京の大仏つあん」</p> <p>[共通事項] ア (ア) リズム・旋律 (イ) 問いと答え・反復</p>		
	<p>4 ○もう一度京都のわらべうたを聴き、曲のよさや面白さを紹介する。</p> <p>(紹介文の例) ぼくは、京の大仏つあんが一番好きです。とても楽しい感じで、「おさるキャッキャッキャ」の歌詞が面白いです。「うしろの正面どなた」と聞いて鬼が答える問いと答えがある曲です。お話しているような旋律です。みなさんもぜひ聴いてみてください。</p>	<p>*何回か曲を聴いたり、楽譜をよく見たりすることにより、「たんす長持」と同じように、音楽を形づくっている要素である問いと答え・リズム・旋律・反復があることに気付くことができるようにする。</p> <p>*四曲のわらべうたの中で、一番好きなわらべうたを選び、音楽を形づくっている要素を用いて、曲のよさや面白さを伝えることができるようにする。</p>	<p>【エー②】 音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の気分や問いと答え・リズム・旋律・反復などの関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲のよさや面白さに気付いて聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・紹介文)</p>

1 1 本時の学習（1 / 4時）

- (1) 目標 ・楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組む。
 ・問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら，音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴く。

(2) 展開

学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 本時のめあての確認をする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">京都のわらべうた「たんす長持」を聴いて，わらべうたのひみつを見つけよう。</p> <p>2 京都のわらべうたである「たんす長持」の曲を聴いて，感じたことや気付いたことを交流する。 「どのような感じがしましたか。」 ・楽しい感じ。 ・はずんだ感じ。 ・面白そう。 ・お話している感じ。 ・遊んでいる感じ。 「どこからそう感じましたか。」 ・リズムがはずんだ感じだったから。 ・歌詞が面白いから。 ・歌詞や旋律がお話している感じだったから。 ・聞いて答えるところがあるから，お話している感じがする。(問いと答え) ・くり返しているところがあるから，相手がいて遊んでいる感じがする。(反復)</p> <p>3 みんなと一緒に歌ったり，体を動かしたりして，京都のわらべうたに親しむ。 『たんす長持』の曲に合わせて，歌ったり体を動かしたりしましょう。」 ・ほしい相手の名前を決めておこう。 ・「お嫁さんになっておいで」の歌詞を何に変えるか相談しよう。 ・みんなと一緒に遊ぶと楽しいね。</p> <p>4 次時の予告をする。 「次の時間は，わらべうたの曲の感じを生かして，問いと答えの音楽をつくりましょう。」</p>	<p>○曲名を提示し，曲名の由来(たんすと長持は，昔の嫁入り道具で，お嫁さんになってくる時に必ずあった大切な物だったこと)を伝える。 ○曲を聴いて，感じたことと気付いたことを分けて板書するようにする。 *歌詞の聴き取りをくり返すことにより，リズムや旋律を感じ取ることができるようにする。</p> <p style="border: 2px dashed black; padding: 5px;">*聴くポイントを変えて何回も曲を聴くことにより，音楽を形づくっている要素である問いと答え・リズム・旋律・反復などに気付くことができるようにする。</p> <p>○聴くポイントについて，気が付いた時は手を挙げるなどして確認するようにする。 *楽譜を提示し，[共通事項]カード(音楽を形づくっている要素が書かれたカード)と照らし合わせながら聴くことにより，聴くポイントについて，全体で確かめるようにする。</p> <p>*遊びのルールを提示し，実際に遊び方を見せることにより，遊び方を知ることができるようにする。 *何回かくり返して体を動かすことにより，わらべうたの曲の感じに親しむことができるようにする。</p> <p>○学んだことを，音楽を形づくっている要素を用いて，学習カードに書くようにする。 ○次時は，わらべうたの曲の特徴を生かした，問いと答えの音楽をつくることを予告する。</p>	<p>【アー①】 楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 (聴いている様子の観察 ・発言・表現の観察)</p> <p>【エー①】 問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら，音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴いている。 (聴いている様子の観察 ・発言・学習カード)</p>

(3) 評価活動の実際

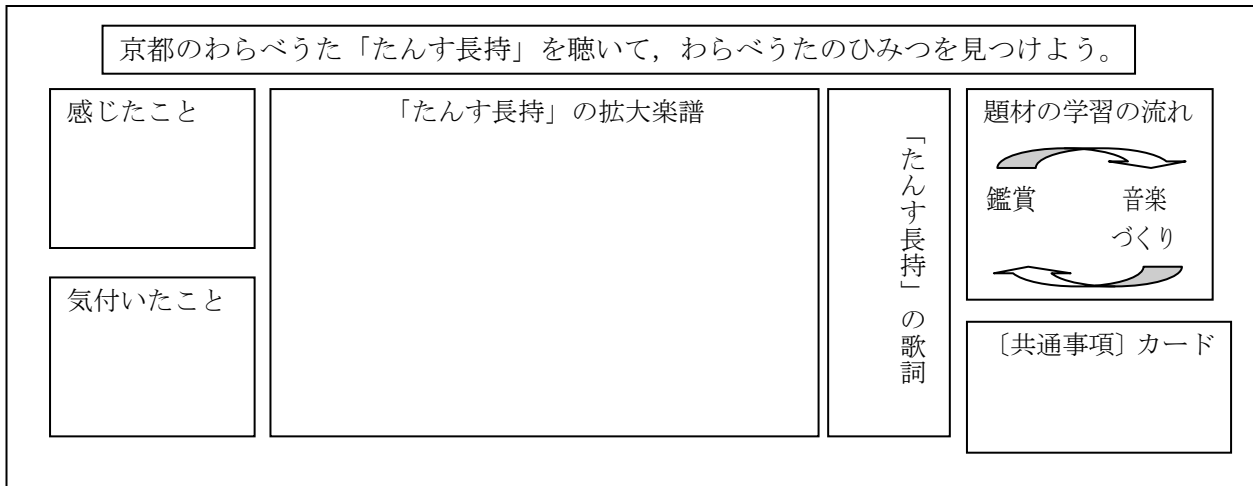
【音楽への関心・意欲・態度】(1/4時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【ア-①】 楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・楽曲の気分を感じ取って聴くことができにくい子どもには、板書や、[共通事項]カードを見ながら聴くように助言する。 ・みんなと体を動かすことができにくい子どもには、教師がそばに寄り添って同じ活動と一緒にやる。	○質的に高まった状況 ・拍の流れを感じながら聴いたり、手を挙げたりする活動に意欲的に取り組んでいる。 ・拍の流れにのって、意欲的に体を動かしている。
○具体的な評価方法 ・楽曲の気分を感じ取っているかどうかを、聴いている様子の観察や発言から見取る。 ・学習に進んで取り組んでいるかどうかを、聴いている様子の観察や発言、表現の観察から見取る。	

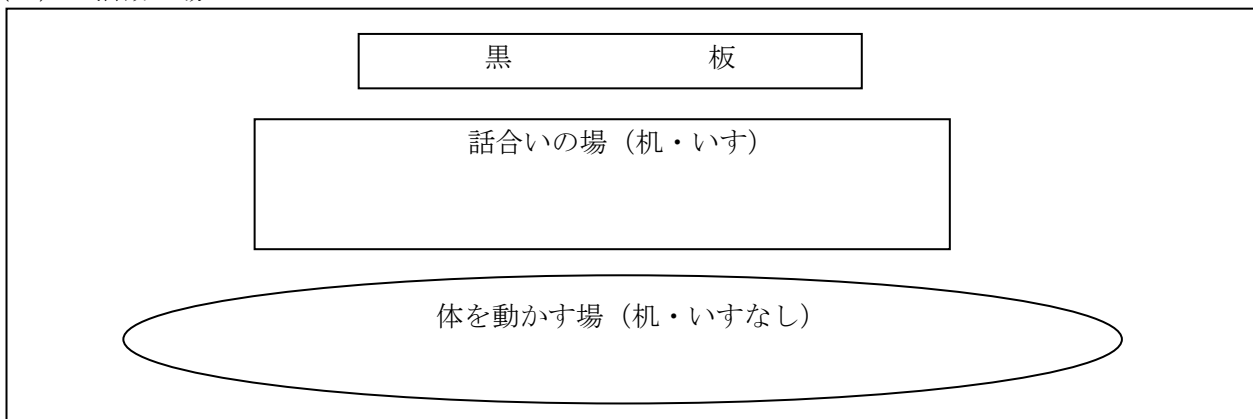
【鑑賞の能力】(1/4時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【エ-①】 問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴いている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・音楽を形づくっている要素を聴き取りにくい子どもには、既習の学習や、[共通事項]カードの掲示を見て、どれにあてはまるか考えるように助言する。 ・学習カードに書くことができにくい子どもには、板書を参考にしたり、音楽を形づくっている要素を用いて書いたりするように助言する。	○質的に高まった状況 ・感じたことや気付いたことについて、音楽を形づくっている要素を用いて、積極的に発言している。 ・音楽を形づくっている要素を的確に用い、学習カードに書いている。
○具体的な評価方法 ・感じたことや気付いたことを、音楽を形づくっている要素と関連付けて考えられているかどうかを、聴いている様子の観察や発言、学習カードから見取る。	

(4) 板書計画



(5) 活動の場



1 1 本時の学習 (2 / 4 時)

- (1) 目標
- ・鑑賞の活動で学んだ、音楽の仕組みや、音を音楽にしていくことに興味・関心をもち、思いをもって問いと答えの音楽をつくる学習に進んで取り組む。
 - ・鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていくことをいろいろと試して、思いをもって問いと答えの音楽をつくる工夫をする。

(2) 展開

学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 「たす長持」の曲の仕組みを想起する。 「どんなひみつがありましたか。」 ・問いと答えがあったね。</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	<p>*曲の仕組みをおさえることにより、本時のめあてにつなげるようにする。</p>	
<p>わらべうたの曲の感じを生かして、問いと答えの音楽をつくろう。</p>		
<p>3 音楽をつくる時の工夫について、全体で話し合う。 「わらべうたは、どんな感じの曲でしたか。」 ・楽しい感じだったよ。 ・はずんだ感じだったね。</p> <p>「今日は、その曲の感じを生かした問いと答えの音楽をつくりましょう。」 ・楽しそうな感じになるのはどの場面かな。 ・問いと答えを使って言葉を作るんだね。</p>	<p>*前時で交流した曲の感じを想起することにより、それらを生かした音楽をつくるようにする。</p> <p>○ふだんの生活場面をいくつか提示し、その中から一つを選ぶようにする。 *初めに問いと答えを使った言葉を作ることにより、言葉の抑揚に合った旋律やリズムを考えるようにする。 *教師が範奏することにより、音楽づくりの仕方がわかるようにする。</p>	
<p>4 二人組になって、簡単な問いと答えの音楽をつくる。 「二人組になって、問いと答えを使った音楽を考えましょう。」 ・言葉の感じに合った旋律やリズムになっているかな。 ・何回も試してみよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(例) <遊びのはじめ> ○○さん→なあに 遊びましょ→いいよ なにをして遊ぶ→なにをして遊ぶ おにごっこしよか→いいよ ♪おーしまい</p> </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>*鑑賞の活動で得た、問いと答え・リズム・旋律・反復などの音楽を形づくっている要素を聴き取りそのよさを感じ取る力を生かすことにより、問いと答えの音楽をつくるようにする。</p> </div> <p>*最後は、「おーしまい」を入れることにより、終わり方がわかるようにする。</p>	<p>【アー②】 鑑賞の活動で学んだ、音楽の仕組みや、音を音楽にしていくことに興味・関心をもち、思いをもって問いと答えの音楽をつくる学習に進んで取り組もうとしている。 (つくっている様子の観察・発言)</p>
<p>5 つくった音楽を何組か発表し、全体で聴き合う。 「感じに合った問いと答えの音楽になっているかどうか、発表し聴き合ひましょう。」 ・遊びのはじめの場面で、楽しい感じになるように、問いと答えの音楽をつくりました。 ・あいさつの場面で、はずんだ感じになるように、問いと答えの音楽をつくりました。 ・問いと答えがわかりやすかったよ。 ・楽しい感じになっていて、聴いていて面白かったよ。</p>	<p>*どんな場面で、どんな感じになるように問いと答えの音楽をつくれたのかを伝えてから発表することにより、聴くポイントをもって聴くことができるようにする。 *感じに合った問いと答えの音楽になっているかを交流することにより、つくった音楽のよさを認め合うことができるようにする。</p> <p>○学んだことを学習カードに書くようにする。 ○次時は、全体で発表することを伝える。</p>	<p>【イー①】 鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていくことをいろいろと試して、思いをもって問いと答えの音楽をつくる工夫をしている。 (つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カード)</p>

(3) 評価活動の実際

【音楽への関心・意欲・態度】(2/4時)

評価の視点とその具体の姿	
<p>○評価の視点 【ア-②】 鑑賞の活動で学んだ、音楽の仕組みや、音を音楽にしていくことに興味・関心をもち、思いをもって問いと答えの音楽をつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>	
<p>○支援が必要とされる子どもへの働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none">・音楽をつくることができにくい子どもには、わらべうたの曲の特徴を想起したり、板書を見たりして、音楽をつくるように助言する。・二人組で音楽をつくる学習に進んで取り組むことができにくい子どもには、教師がそばに寄り添って、どんな場面で、どんな感じにしたいかを一緒に考えるようにする。	<p>○質的に高まった状況</p> <ul style="list-style-type: none">・わらべうたの曲の感じになるように、音楽を形づくっている要素を用いて、問いと答えの音楽をつくる活動に意欲的に取り組んでいる。
<p>○具体的な評価方法</p> <ul style="list-style-type: none">・わらべうたの曲の感じになるように、音楽を形づくっている要素を用いて、問いと答えの音楽をつくる学習に進んで取り組んでいるかどうかを、つくっている様子の観察や発言から見取る。	

【音楽表現の創意工夫】(2/4時)

評価の視点とその具体の姿	
<p>○評価の視点 【イ-①】 鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・リズム・旋律・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていくことをいろいろと試して、思いをもって問いと答えの音楽をつくる工夫をしている。</p>	
<p>○支援が必要とされる子どもへの働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none">・どのように音楽をつくれればよいか表現しにくい子どもには、教師との対話の中で引き出された児童の思いを教師が言語化し、その言葉の抑揚に合った旋律やリズムを考えるようにする。・言葉の抑揚に合った旋律やリズムを考えにくい子どもには、教師が子どもの思いを共有しながら旋律やリズムと一緒に考えるようにする。	<p>○質的に高まった状況</p> <ul style="list-style-type: none">・言葉の抑揚に合った旋律やリズムを何回も試しながら、よりよいものを目指して問いと答えの音楽をつくっている。・わらべうたの曲の感じになるように、音楽を形づくっている要素を的確に用い、問いと答えの音楽をつくっている。
<p>○具体的な評価方法</p> <ul style="list-style-type: none">・言葉の抑揚に合わせて、思いをもって問いと答えの音楽をつくっているかどうかを、つくっている様子の観察や発言、演奏の聴取から見取る。・音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かして、問いと答えの音楽をつくっているかどうかを、学習カードから見取る。	

(4) 板書計画

わらべうたの曲の感じを生かして，問いと答えの音楽をつくろう。			
「たんす長持」の 拡大楽譜	感じたこと	生活場面の例	学習カードの書き方
	気付いたこと	音楽づくりの進め方	

(5) 活動の場

黒板
学習の場 (机・いす)

1 1 本時の学習（3 / 4時）

(1) 目標 鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・反復などの音楽の仕組みを生かし、問いと答えの音楽をつくる。

(2) 展開

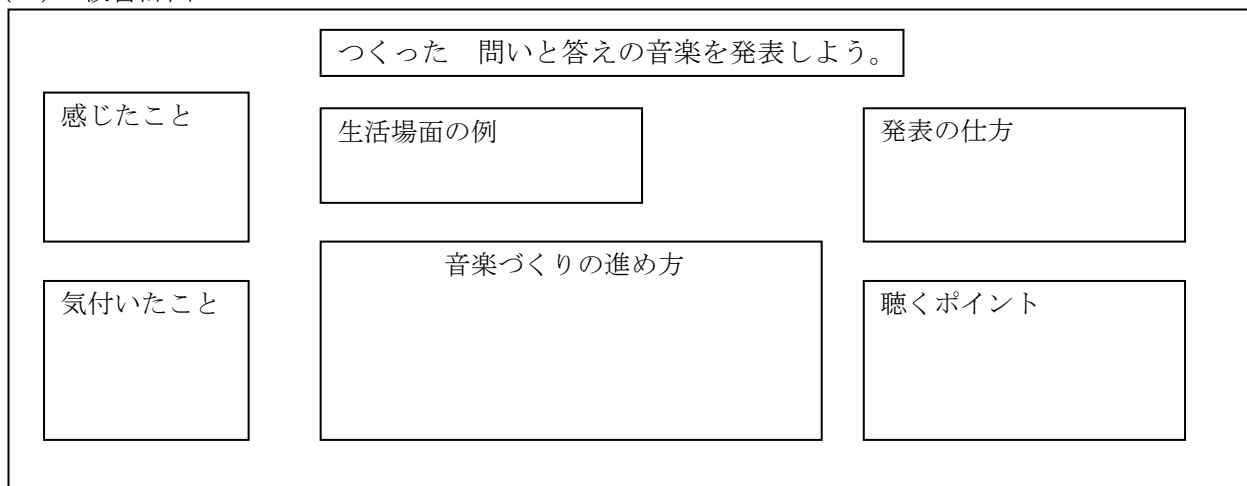
学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 前時の学習を想起し、二人組になって、つくった音楽を確かめる。 「二人組になって、前時につくった問いと答えの音楽を確かめましょう。」 ・ぼくたちは、あいさつをする時の場面だったね。 ・言葉に合った旋律やリズムをつくったね。</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	<p>*前時の学習を想起することにより、音楽を形づくっている要素である問いと答えなどを使った音楽をつくっているかどうかを確かめるようにする。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">つくった</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">問いと答えの音楽を発表しよう。</div>	
<p>3 四人組になって、それぞれの音楽を発表する。 「四人組になって、よかったところや直した方がいいところを話し合いましょう。」 ・ぼくたちは、あいさつをする場面で、はずんだ感じになるように問いと答えの音楽をつくりました。聴いてください。 ・問いと答えがわかりやすかったよ。 ・言葉の感じに合った旋律になっていてよかったよ。 ・もう少し、はずんだ感じになるようにリズムをはっきりとしたほうがいいと思うよ。</p>	<p>*どんな場面で、どんな感じになるように問いと答えの音楽をつくったのかを伝えてから発表することにより、聴くポイントをもって聴くことができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>*問いと答えになる言葉になっているか、言葉の抑揚に合った旋律やリズムになっているかなど、聴くポイントを与えることにより、よかったところ、直した方がいいところを伝えるようにする。</p> </div> <p>*聴き合った後に少し時間をとることにより、最後の確かめができるようにする。</p>	
<p>4 全員で発表し、それぞれの音楽のよさを聴き合う。 「みんなで聴き合って、それぞれの音楽のよさを見つけましょう。」 ・問いと答えがはっきりしていて、わかりやすかったよ。 ・リズムがはずんだ感じだったから、とても楽しそうだったよ。 ・言葉の感じに合った旋律やリズムになっていたよ。</p>	<p>*どんな場面で、どんな感じになるように問いと答えの音楽をつくったのかを伝えてから発表することにより、聴くポイントをもって聴くことができるようにする。</p> <p>*感じに合った音楽になっているかを交流することにより、つくった音楽のよさを認め合うことができるようにする。</p> <p>*発表は録画することにより、後で旋律やリズムを確かめことができるようにする。</p>	<p>【ウー①】 鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・反復などの音楽の仕組みを生かし、問いと答えの音楽をつくっている。 (演奏の聴取・発言・学習カード)</p>
<p>5 本時のまとめをする。 ○音楽づくりで工夫したこと、頑張ったことや、友だちの音楽を聴いてよかったことなどを、学習カードに書きましょう。</p>	<p>○学んだことや、友だちの音楽のよかったところを、学習カードに書くようにする。</p> <p>○次時は、もう一度京都のわらべうたを聴くことを伝える。</p>	

(3) 評価活動の実際

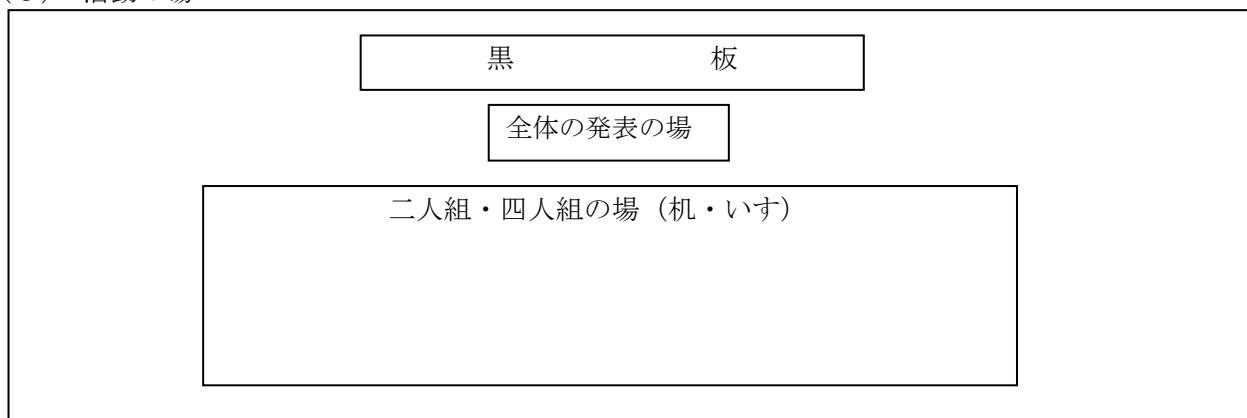
【音楽表現の技能】(3/4時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【ウー①】 鑑賞の活動で学んだ、問いと答え・反復などの音楽の仕組みを生かし、問いと答えの音楽をつくっている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・どのように音楽をつくれればよいか表現しにくい子どもには、前時までの掲示や板書を見て、音楽をつくるように助言する。 ・発表の仕方がわからない子どもには、板書の例を見て、言葉をあてはめて発表するように助言する。	○質的に高まった状況 ・四人組で交流した後で、より良い音楽を目指して、さらに音楽を考えている。 ・拍の流れにのって、簡単な問いと答えの音楽をつくっている。
○具体的な評価方法 ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かして、簡単な問いと答えの音楽をつくっているかどうかを、演奏の聴取や発言、学習カードから見取る。	

(4) 板書計画



(5) 活動の場



1 1 本時の学習（4 / 4時）

(1) 目標 音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の気分や問いと答え・リズム・旋律・反復などの関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲のよさや面白さに気付いて聴く。

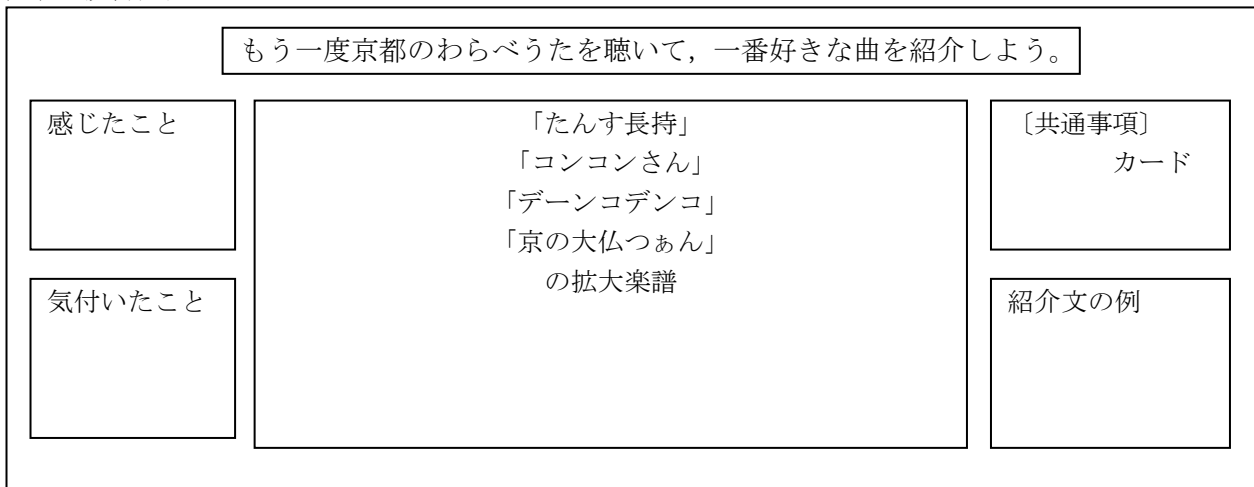
(2) 展開

学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
1 本時のめあての確認をする。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">もう一度京都のわらべうたを聴いて、一番好きな曲を紹介しよう。</div>		
<p>2 みんなと一緒に歌ったり、体を動かしたりして、京都のわらべうたに親しむ。 「それぞれの曲に合わせて、歌ったり体を動かしたりしましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コンコンさん」は、逃げる前に歌うんだね。 ・「デーンコデンコ」は、一列になって人を当てるよ。 ・「京の大仏つあん」は、円になって後ろになった子を当てるんだね。 	<p>*「たんす長持」の後、「コンコンさん」「デーンコデンコ」「京の大仏つあん」の楽譜を順番に提示することにより、どんな遊びうたなのかを想像しながら、拍の流れにのって歌うようにする。</p> <p>*「デーンコデンコ」と「京の大仏つあん」は、何人かで演示することにより、遊び方を知るようにする。</p> <p>*何回かくり返して体を動かすことにより、わらべうたの曲の感じに親しむことができるようにする。</p>	
<p>3 京都のわらべうたを聴き、感じたことや気付いたことを交流する。 「どのような感じがしましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい感じ。・はずんだ感じ。 ・面白そう。・お話している感じ。 <p>「どこからそう感じましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の京都のわらべうたにも問いと答えがあるからお話している感じがするよ。 ・くり返しのリズムがあるから楽しいね。 ・歌詞が面白いね。 	<p>○曲を聴いて、感じたことと気付いたことを分けて板書するようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>*何回か曲を聴いたり、楽譜をよく見たりすることにより、「たんす長持」と同じように、音楽を形づくっている要素である問いと答え・リズム・旋律・反復があることに気付くことができるようにする。</p> </div>	<p>【エー②】</p> <p>音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の気分や問いと答え・リズム・旋律・反復などの関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲のよさや面白さに気付いて聴いている。</p> <p>(聴いている様子の観察・発言・紹介文)</p>
<p>4 京都のわらべうたのよさや面白さを紹介する文を書く。 「一番好きなわらべうたを選び、曲のよさを紹介しましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;"> <p>(紹介文の例)</p> <p>ぼくは、京の大仏つあんが一番好きです。とても楽しい感じで、「おさるキャッキャッキャ」の歌詞が面白いです。「うしろの正面どなた」と聞いて鬼が答える問いと答えがある曲です。お話しているような旋律です。みなさんもぜひ聴いてみてください。</p> </div>	<p>*例文を提示することにより、紹介文の書き方の参考になるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>*四曲のわらべうたの中で、一番好きなわらべうたを選び、音楽を形づくっている要素を用いて、曲のよさや面白さを伝えることができるようにする。</p> </div>	

(3) 評価活動の実際
【鑑賞の能力】(4 / 4時)

評価の視点とその具体の姿	
<p>○評価の視点 【エー②】 音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の気分や問いと答え・リズム・旋律・反復などの関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲のよさや面白さに気付いて聴いている。</p>	
↑	↓
<p>○支援が必要とされる子どもへの働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を聴き取りにくい子どもには、既習の学習や、板書の掲示を見て考えるように助言する。 ・紹介文を書くことができにくい子どもには、板書を参考にしたり、音楽を形づくっている要素を用いて書いたりするように助言する。 	<p>○質的に高まった状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや気付いたことについて、音楽を形づくっている要素を用いて積極的に発言している。 ・感じたことや気付いたことを、音楽を形づくっている要素を的確に用い、紹介文に書いている。
<p>○具体的な評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや気付いたことを、音楽を形づくっている要素と関連付けて考えられているかどうかを、聴いている様子の観察や発言、紹介文から見取る。 	

(4) 板書計画



(5) 活動の場

